



六月十八日の議会の開会にあたり市長は四月から六月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

若者の集まるまちづくり

地方拠点都市関係については、県知事の地域指定を受け、関係十市町村で基本計画の策定に鋭意取り組んできた結果、三月二十五日、全国で最初に承認を受けることができました。

両球都市交流

姉妹都市交流について、今年、宮城県岩沼市との姉妹

市議会

六月定例

久礼田、十市地区についても、先進地視察を軒え、推進委員会により区域の決定と合意形成に向けての準備が進められています。

農業集落排水事業については、浜改田地区をモデル地区として実施計画を作成し、七部落において説明会を実施、六年度事業実施に向け積極的に準備を進めているところであります。

水産業については、採る漁業から生産する漁業への関心が深まるなか、香長地区漁業改良協議会が、四月二十日にヒラメの稚魚六千尾を浜改田、赤岡、手結沖に放流しました。引き続き、六月中旬には、マダイの稚魚一万五千尾が放流される予定です。

産業の拠点整備

通産省のオフィス・アルナディア、産業業務施設再配置促進事業は、産業業務施設立地円滑化調査が完了し、地域振興整備公団の事業実施に向け積極的に取り組んでいます。先行しているハイテクパーク事業についても、引き続き用地買収に取り組んでいきます。

県の主要施策である物流拠

とする土電軌道運行維持対策協議会を設立、土電軌道の利用促進対策及び活性化対策の推進により同軌道の運行維持を支援することを決定しました。現在、運輸省、土佐電鉄協議会で改善計画について協議中です。



進捗状況

後免町市街地再開発事業については、現在、後免町一丁目

市民の定住

運輸省より、平成五年度で打ち切りの方針が示されている鉄道軌道整備補助金については、県、高知市とともに、土佐電鉄に対し、経営改善計画の作成を促したうえで、伊野町を含めた県と三市町で、五月十八日、高知市助役を会長

点整備事業については、地元周辺対策協議会を窓口

小滝流通団地(トラック団地)建設推進事業は、予定どおり完成しました。

人材バンクの設立

土佐のまほろば祭りは、今年八月十四日に決定しました。実行委員会を中心に準備を進めています。



老人保健福祉計画

老人保健福祉計画は、その策定にあたり実施した調査の結果、多様化、高度化していく住民ニーズが浮き彫りとなりました。このため、要介護者の状況に即した適切なサービスの提供を目指した処遇方針の確立に向け積極的に取り組んでいきます。

保健行政については、先

で後免町、大橋、長岡地区の一部の地域で供用開始されており、昨年整備された区域と合わせて、処理区域面積は合計約三千七百七となっており

新たな工事としては、薩原分区の枝線管渠を早期発注しました。引き続き幹線の発注について準備しています。

同和対策事業

同和対策事業については、現在、公営住宅建設事業完了に向けて努力しています。

同和対策事業

同和対策事業については、現在、公営住宅建設事業完了に向けて努力しています。

新時代に向けて  
空港再拡張へ



懸案となっていた高知空港再拡張問題で、これまで地元地権者らでつくる高知空港再拡張対策協議会(又



これにより、政府は来年度予算の概算要求に、滑走路の設計費などを盛り込む予定。また、用地交渉が閉

こ半の、公営住宅の不足が聞かれ、建設要求も出ていますが、同和対策協議会の意見を聞きながら対応していきます。野中地区墓地整備事業については、他市町村の取り組みなどを参考としながら具体化への方策を研究しているところ

これからの農業は

本年度から水田営農活性化対策がスタートしました。水田農業の活性化を目指し向こう三年間に渡って取り組んでいきます。

農業振興地域の見直しについては、浜改田地区の物流基地、領石地区のオフィス・アルオディア、前浜地区のし尿処理施設用地等が農業振興地域から除外されると予想されます。

ほ場整備事業は、岩村、浜改田、久礼田、十市などの地区で、実施に向けての取り組みを進めています。

岩村地区については、すでに六年度事業実施に向け、五月に申請済です。南高知地区については、JA高知三和の全面的な協力により現地事務所を設置しました。



# これからもよろしく

～姉妹都市提携20周年～

一九七三年七月、県都に近い、空港を擁した田園都市という南国市と似た背景を持つ宮城県岩沼市と姉妹都市提携を結び、以来、青年市民会議、市議会、ライオンズクラブ、商工会などを通じて交流を続けてきました。

今年、姉妹都市の縁を結んで二十年目をむかえるにあたり、より深いきずなをというこで、四月に姉妹都市親善協会を設立。市民一体となった交流に向け、小中学生らのスポーツ交流、お互いの展覧会に出展しあう芸術交流、青年の交流や祭りを通じての交流など、盛りだくさんのイベントが計画されています。

そのトップを切って、岩沼市の竹駒神社で五月十日に行

われた御田植祭に、南国市から早乙女として、末政恵さん（田村）と岩本真紀さん（大場）が参加しました。

初めは、もんべ姿での慣れない田植えに緊張していた二人も、時間がたつにつれ、周りの人とうとう和気あいあいに、末政さん、岩本さんともに、岩沼の良さ、人の温かさを感じてきたそうです。

現在、南国市姉妹都市親善協会では会員を募集しています。緑あふれる町、岩沼との交流の力になってみませんか。■年会費 団体会員一口3千円、個人会員一口2千円 ※申し込み、お問い合わせは南国市企画課（岩市役所内線421、422）まで



岩沼の方たちと。左から3番目が岩本さん、5番目が末政さん。



# 市役所が火事!?

～南国市防災訓練～



県の防災週間の最終日となる六月七日、市役所で防災訓練が行われました。これは防災関係者、住民に災害時の心構えと防火活動を認識習得してもらうためのもので、市職員、消防署、消防団らが参加。高知県一帯に震度五の大地震が発生、同時に市役所各階の百湯沸室から出火という想定で、避難、初期消火の訓練が行われました。また同日、物部川河川敷では、市消防署、消防団から三百人ほどが参加して、消防団夏期訓練が行われ、非常時に備えました。



消防団夏期訓練

# 育児は育自② お父さん出番ですよ

南国市家庭教育学級専任講師  
竹内富二枝



子育ては面白い、犠牲と使う女はさびしい。せっかく女と生まれたのだから、男と違う部分で実力を発揮したい。平等とは女が男になることではなく、違いを認めた上での人間平等のこと。思つことは婦人週間記念講演のなかでの大宅映子氏の談です。

さて、先日テレビ放映でタツノオトシゴの出産を見ましたが、雌が雄のおなかに卵を産み落すのです。雌から雄へと無数の卵が授受される瞬間は、神々しいまでに美しく感動的なものでした。こうして、ふ化するまでは雄が卵を保護するのです。また、南米のキヌアザは必ず双子を出産するため授乳後は雄儀が子守をします。鳥類は、ほとんどが父鳥、母鳥交替の子育てです。つまり、自然界においては、なんらかの条件下で父親も子育てに参加しているのです。

核家族化、女性の社会進出など社会の変化と共に家族の役割もますます変化を続けるでしょう。「私はっかり子育ての責任を負わせて」ではなく、「楽しい子育て、面白い子育てをお父さんにも分けてあげよう」という気持ちで夫婦助け合って子育てをしたいものです。

《社会教育課》